

山口県医師会 平成 30 年度 事業報告

I 実施事業

—地域医療・保健・福祉を推進する事業—

1 生涯教育

林 副会長 加藤専務理事

白澤 理事 山下 理事

生涯教育事業では中核事業である生涯研修セミナーの講演内容を生涯教育委員会で企画・検討した。生涯研修セミナーでは臨床のみならず、「AI時代の医療の可能性と課題」、「緩和ケアと終末期医療」などの幅広いテーマを取り上げ実施した。また、29年度から引き続き、専門医共通講習の単位を積極的に取得した。

第 101 回山口県医学会総会では下松医師会の引き受けにより午前の特別講演 2 題を医師向けに実施し、午後の市民公開講座では佐々部 清 監督をお迎えし、多数の市民の皆様にご聴講いただいた。また、午前中に県内の中高生を対象にした医師の職業体験を開催し、参加者から大変好評であった。

体験学習は山口大学医学部・山口大学医師会の主催により開催した。講義のほかに、シミュレーション器具を使用した手技の実習等が企画された。

医学生や研修医を指導する臨床研修指導医を養成するために実施している「指導医のための教育ワークショップ」を 1 泊 2 日の合宿形式で 30 年度も開催し、25 名が修了した。

日医生涯教育協力講座セミナーでは「これから高尿酸血症・痛風治療戦略」をテーマに実施した。

日医は、今後のさらなる少子高齢社会を見据え、地域住民から信頼される「かかりつけ医機能」のあるべき姿を評価し、その能力を維持・向上するために「日医かかりつけ医機能研修制度」をスタートさせた。基本研修、応用研修、実地研修の 3 つの要件があり、必須要件である応用研修会を開催した。

第 53 号の山口県医学会誌を発行した。

1 山口県医学会総会

第 101 回（ほしらんどくだまつ）6 月 17 日

特別講演 2 題、県民公開講座 1 題

2 生涯研修セミナー

第 148 回 5 月 13 日

特別講演 4 題

第 149 回 9 月 2 日

特別講演 4 題

第 150 回 11 月 18 日

特別講演 2 題及びシンポジウム 1 題

第 151 回 2 月 17 日

特別講演 2 題、基調講演 1 題及びシンポジウム 1 題

※基調講演、シンポジウムは勤務医部会企画

3 体験学習（山口大学医師会主催）

第 67 回「日常診療に役立つ胸部・腹部領域の画像診断のポイント」

1 月 27 日（引受：放射線医学講座）

第 68 回「癌の早期発見を目指した

消化管内視鏡診療」

3 月 3 日（引受：消化器内科学講座）

4 指導医のための教育ワークショップ

第 15 回 3 月 9～10 日

5 日医生涯教育協力講座セミナー

「これから高尿酸血症・痛風の治療戦略」

7 月 21 日

6 日医かかりつけ医機能研修制度

応用研修会 5 月 20 日 11 月 4 日

7 山口県医学会誌

第 53 号の編集及び発行

8 生涯教育諸会議

郡市医師会生涯教育担当理事協議会

		3 月 14 日
生涯教育委員会	5 月 26 日	7 月 7 日
	10 月 13 日	2 月 23 日

2 医療・介護保険

萬 常任理事 清水常任理事
伊 藤 理 事 吉 水 理 事
郷 良 理 事

平成 30 年度の診療報酬(本体)はプラス 0.55% の改定となり、医科はプラス 0.63% となったが、薬価・材料価格がマイナス 1.65% であったため、全体としてはマイナス 1.19% のマイナス改定となった。

中身としては「機能強化加算」、「妊婦加算」(その後、凍結)等の加算項目が多く新設されたが、本来は本体の増点が図られるべきと考える。

「オンライン診療」については保険診療上の適正な取扱いに向けて、ガイドライン及び Q & A 等による周知徹底が引き続き図られている状況である。また、「夜間看護体制特定日減算(一般病棟入院基本料)」については、救急患者への対応において、患者が入院とならなかった場合には入院基本料が減算される要件となっており、この文面どおり運用されるのであれば、夜間に救急外来を行う病院がなくなる可能性もあり、引き続き日医を通じて対応していく。

今改定で実施されなかった項目については、「RS ウイルス抗原定性及びノロウイルス抗原定性」にある年齢制限要件の撤廃、「院内調剤の増点及び院内での一包化加算」の新設、「向精神薬処方」に関する複雑化しすぎた要件の緩和等については、喫緊の課題として対応していく。

前述のような、会員から持ち上がった診療報酬の問題点、改正点については積極的に日医へ進言し、医療保険対策を講じているところであるが、その進言の基となるのは、郡市医師会保険担当理事協議会及び社保国保審査委員との協議会等から提出される意見であることから、これら協議会等は非常に重要な意見交換の場となっており、今後とも充実に努めていくところである。

個別指導については 30 年度も各地区で 9 回実

施された。保険指導医は全員県医師会の保険委員を兼任することとし、立会いについても医師会の保険担当役員(郡市及び県)が行うことで、医療担当者側の立場が尊重された適正な保険指導が実施されるように努めた。

介護保険については、郡市介護保険担当理事・ケアマネ・訪問看護師との合同協議会を開催し、関係機関等との連携強化・情報伝達に努めた。さらに、地域包括ケアシステムの推進(認知症サポート医の養成及びフォローアップ研修)等についても行政を含む関係機関等との協議を重ねた。また、その他の認知症関連の研修会、地域包括診療加算・地域包括診療料に係る研修会、勤務医のための主治医意見書の書き方講習会等を開催し、診療報酬の施設基準等を満たすべく研修を実施した。

また、31 年度から創設予定のオレンジドクター制度について、行政を含む関係者と協議を行った。

労災・自賠責医療保険については郡市医師会担当理事協議会・労災保険医療委員会合同会議を開催し、それぞれの保険が抱える特有の問題(人身傷害補償保険等)について協議、情報提供を行った。

また、交通事故医療問題の対応については、定例の山口県自動車保険医療連絡協議会においては、各損保会社、各医療機関から提出された交通事故医療に関する未解決事例について、加盟の損保会社と協議を行い対処した。

30 年度は自賠責保険研修会を開催(2 年に 1 回)し、特別講演「肩腱板断裂の診断と治療」等により、会員への情報提供及び対応方法について周知を図った。

1 医療保険の指導

個別指導

7 月 26 日(山口市)	9 月 13 日(山口市)
9 月 27 日(山口市)	10 月 11 日(宇部市)
10 月 25 日(宇部市)	11 月 8 日(岩国市)
11 月 22 日(山口市)	11 月 29 日(周南市)
1 月 31 日(宇部市)	2 月 14 日(山口市)
2 月 28 日(下関市)	

指定時集団指導	7 月 12 日	1 月 10 日
新規第 1 号会員研修会		8 月 2 日

新規保険医療機関個別指導

7 月 26 日 (山口市) 9 月 13 日 (山口市)

9 月 27 日 (山口市) 2 月 14 日 (山口市)

社会保険医療担当者集団指導

6 月 28 日 7 月 12 日 8 月 2 日

2 日医・郡市医・医療保険関係団体等との連携

中国四国医師会連合総会分科会

5 月 13 日 (高松市) 9 月 30 日 (松江市)

郡市医師会保険担当理事協議会 5 月 31 日

医師会推薦社保・国保審査委員合同協議会

5 月 31 日

保険委員会 5 月 24 日 3 月 7 日

社保・国保審査委員連絡委員会

7 月 5 日 2 月 7 日

社保・国保審査委員合同協議会 8 月 30 日

社会保険指導者講習会 10 月 3～4 日

山口県医療保険関係団体連絡協議会

3 月 18 日

3 行政機関との連携

山口県健康福祉部厚政課との打合せ

4 月 26 日

中国四国厚生局山口事務所、山口県健康

福祉部医務保険課との打合せ 4 月 26 日

中国四国厚生局山口事務所との打合せ

3 月 28 日

4 介護保険

郡市医師会介護保険担当理事協議会

・介護保険対策委員会・関係者合同協議会

10 月 18 日

山口県介護保険研究大会 12 月 2 日

地域包括診療加算・地域包括診療料に係る

かかりつけ医研修会

8 月 26 日 11 月 25 日

かかりつけ医認知症対応力向上研修会

8 月 5 日 3 月 3 日

認知症サポート医フォローアップ研修会

3 月 16 日

勤務医のための主治医意見書書き方講習会

10 月 9 日

主治医意見書記載のための主治医研修会

3 月 23 日

オレンジドクター制度に関する検討会

1 月 30 日 3 月 16 日

5 労災・自賠責関係

郡市医師会労災・自賠責保険担当理事協議会

・労災保険医療委員会合同会議 11 月 1 日

労災診療費算定基準の改定に伴う説明会 (共催)

6 月 14 日 6 月 21 日 7 月 19 日

労災診療費算定実務研修会 (共催)

10 月 18 日 (山口市)

自賠責医療委員会 8 月 2 日 2 月 14 日

山口県自動車保険医療連絡協議会

8 月 2 日 2 月 14 日

自賠責保険研修会

1 月 17 日

3 地域医療

前川常任理事 清水常任理事

河村会長 伊藤理事

吉水理事

地域医療

(1) 保健医療計画の推進

2025 年に向けた医療・介護は効率的かつ質の高い医療提供体制及び地域包括ケアシステムの構築が求められている中、各構想区域の地域医療構想調整会議においては、平成 28 年に策定された地域医療構想の実現に向けて、病床の機能分化・連携の推進、30 年度は特に公立病院及び公的医療機関等が策定した 2025 プラン (2025 年に向けた具体的な対応方針) についての協議が進められた。また、調整会議の議論を活性化するため、県医師会担当役員も地域医療構想アドバイザーを担い、議論の状況や課題等を把握し、必要に応じて技術的助言に努めた。

地域医療介護総合確保基金 (医療分) については、地域医療を確保していく上での重要な事業が円滑に実施できるよう、引き続き予算確保に努めた。

また、外国人医療対策や新天皇即位による 10 連休への対応など新たに生じる課題に対しても、地域において必要な医療提供体制が確保できるよう、郡市医師会をはじめ関係者と連携を図って、

その対応に取り組んだ。

地域医療計画委員会 4 月 19 日

地域医療構想調整会議「全体会議」

「岩国」 1 月 24 日

「柳井」 10 月 31 日 2 月 13 日

「周南」 9 月 20 日 1 月 31 日

「山口・防府」 9 月 27 日

「宇部・小野田」 9 月 20 日 2 月 14 日

「下関」 10 月 16 日 2 月 8 日

「長門」 3 月 7 日

「萩」 8 月 30 日

地域医療構想調整会議「検討部会」

「岩国」 11 月 28 日

「柳井」 1 月 18 日

「周南」 12 月 20 日

「山口・防府」 8 月 23 日 11 月 29 日

「宇部・小野田」 8 月 23 日 1 月 17 日

「下関」 10 月 2 日 1 月 24 日 3 月 11 日

「長門」 9 月 27 日 2 月 7 日

「萩」 12 月 6 日

地域医療介護総合確保基金（医療分）にかかる

都道府県個別ヒアリング 4 月 10 日

日本医師会 外国人医療対策会議 7 月 4 日

厚生省：医療政策研修会及び地域医療構想

アドバイザー会議 8 月 31 日 2 月 15 日

中国四国医師会連合分科会

「第 1 分科会」『島根』 9 月 29 日

へき地医療専門調査会 11 月 8 日 3 月 18 日

(2) 救急・災害医療対策

①初期救急医療について

郡市救急医療担当事務協議会を開催し、地域の救急医療体制の確保に向けた情報提供、意見交換等を行った。

また、AED の普及促進を図るため、講習会で使用する訓練用資機材の貸出を行うとともに、本会独自で県内医療機関における AED 設置状況や、AED による救命措置の状況について調査を行った。

郡市医師会救急医療担当事務協議会

6 月 28 日

②小児救急について

「小児救急医療電話相談事業」は、小児科医会

の協力により 19 時～ 23 時までを県医師会、23 時～翌朝 8 時までを民間業者が実施した。相談件数は年々増加しており、電話相談員の更なるスキルアップを図るため、実技を交えた研修会を実施した。また、小児救急医療対策協議会を開催し、電話相談事業の運営や県内の小児救急医療体制の充実に向けた対応等について、専門的な立場で協議・検討を行った。なお、平成 16 年度から実施しているこの相談事業について、小児科医会等と検討した結果、地区での相談業務に従事する看護師等の継続的な人材確保及び養成が難しいため、31 年度以降は受託しないこととした。

病院勤務医の負担を軽減し、地域の安心な小児救急医療環境を確保するため、各郡市医師会の協力により、乳幼児の保護者を対象にした啓発講習会及び小児科を専門としない医師を対象とした地域医師研修会を開催した。

郡市医師会小児救急医療担当事務協議会

6 月 21 日

小児救急医療電話相談事業研修会 8 月 19 日

山口県小児救急医療対策協議会 3 月 7 日

③検死（検視・検案）体制について

例年どおり、警察医会を中心として、役員会・総会を開催し、警察が行う死体検案に協力する医師の連携を図り、研修会を 2 回実施した。さらに、県警察が実施する検視・遺族対応合同訓練に参加し、日医や県の関係会議等へ参加した。

警察医会 役員会

5 月 10 日 8 月 4 日 2 月 2 日

警察医会 総会 8 月 4 日

警察医会 研修会 8 月 5 日 2 月 2 日

多数の死者を伴う大規模災害等発生時に

おける検視・遺族対応合同訓練（第 7 回）

11 月 22 日

都道府県医師会「警察活動に協力する医師の

部会」連絡協議会・学術大会 5 月 19 日

④災害医療体制について

「JMAT やまぐち活動マニュアル」に基づき、引き続き各郡市医師会又は病院単位による JMAT チームの事前登録を進めた。（28 チーム・209 人：平成 31 年 3 月末現在）

例年、事前登録者等を対象に研修会を実施しており、30 年度は多職種連携として、平成 30 年 7 月の豪雨災害で実際に被災地に派遣された看護師、薬剤師、理学療法士、保健師から報告していただくとともに、総論、指揮命令系統、DHEAT に関する講義を行った。

また、30 年度から日本医師会主催により JMAT 研修が開催され、基本編と統括 JMAT 編に参加した。

「JMAT やまぐち」災害医療研修会 3 月 24 日

「JMAT やまぐち」災害医療研修会

事前打合せ会 11 月 14 日

都道府県災害医療コーディネート研修

1 月 5～6 日

山口県地域災害医療コーディネート研修

2 月 9～10 日

日医 JMAT 研修「基本編」 10 月 14 日

日医 JMAT 研修「統括 JMAT 編」 2 月 24 日

(3) 地域包括ケアシステムの構築

在宅医療・介護の連携推進は、地域の特性に応じた地域包括ケアシステム構築の中核と捉え、各郡市医師会が積極的に関与していくことが重要である。30 年度も郡市医師会担当理事会議を開催し、地域の取り組み状況や国の動向などを報告して意見交換するとともに、先進的な事例を共有して今後の取組みに活かした。

郡市医師会地域包括ケア担当理事会議

9 月 13 日 2 月 14 日

山口県在宅医療推進協議会 12 月 13 日

在宅医療関連講師人材養成事業研修会

1 月 20 日

中国四国医師会連合分科会「第 2 分科会」『島根』

9 月 29 日

(4) 有床診療所対策

有床診療所部会においては全国的に閉院・無床化が進む中、健全な運営に向けた診療報酬による評価など全国有床診療所連絡協議会と連携して取り組んだ。また、スプリンクラー等の設置義務化の決定に伴い、医療施設スプリンクラー等整備事業について情報提供及び補助金の有効な活用を呼びかけた。30 年度は全国有床診療所連絡協議会総

会の担当県として準備・運営に取り組み、全国からの参加者を迎えて盛会に開催することができた。

有床診療所部会役員会

7 月 12 日 10 月 25 日

有床診療所部会総会 10 月 25 日

第 31 回全国有床診療所連絡協議会総会

「山口大会」 7 月 28～29 日

全国有床診療所連絡協議会中国四国

ブロック会役員会、総会・研修会「岡山」

1 月 27 日

「有床診療所の日」記念講演会 12 月 2 日

地域福祉

福祉領域においては、行政の会議等へ出席するとともに、障害者福祉、児童・母子福祉などの地域保健部門と連携をとり、会員への情報提供に努めた。

4 地域保健

藤本常任理事 中村常任理事

前川常任理事 伊藤理事

吉水理事 河村理事

地域保健は、妊産婦・乳幼児保健、学校保健、成人・高齢者保健及び産業保健の 4 部門からなり、各事業は多岐にわたっている。住民の「生涯を通じた健康の保持・増進」の目標のもと、一連の流れとして捉え、関係機関と緊密に連携を取りながら事業を進めた。

妊産婦・乳幼児保健

広域予防接種は、各郡市医師会や各市町関係者と合同会議を開催し、円滑に遂行されている。30 年度も予防接種に関する知識と理解を深めることを目的に研修会を開催した。

定期接種化されていないワクチン（おたふくかぜやロタウイルス）の定期接種化や、B 型肝炎定期接種体制の対象外である年齢の小児に対する助成を県などに対して要望した。

「子ども予防接種週間」は、保護者をはじめとした地域住民の予防接種に対する関心を高め、予防接種率の向上を図ることを目的に、日本医師会、日本小児科医会、厚生労働省の主催で実施され、本会としても協力医療機関の調査や市町への広報

について協力した。

母子保健分野では、乳幼児健康診査や妊婦健康診査の料金案等について関係機関と意見交換のうえ、県医師会案を行政に提示し、協議を行うとともに円滑な実施をお願いした。

また、虐待防止活動として山口県産婦人科医会と共催で研修会を開催した。

郡市医師会妊産婦・乳幼児保健担当理事	
協議会・関係者合同会議	9 月 6 日
予防接種医研修会	12 月 9 日
日医母子保健講習会	2 月 17 日
児童虐待の発生予防等に関する研修会	10 月 21 日

学校保健

学校医部会では、学校医活動の活性化と資質向上に向けた取組みとして、学校医研修会を企画し、「コンタクトレンズ問題」について講演を行った。また、30 年度新たに『学校医の手引き（第 4 版）』の改訂作業を開始し、そのほか学校医が活動を記録する「学校医活動記録手帳」を作成、配付した。

学校心臓検診検討委員会では、学校心臓検診報告書の作成や精密検査医療機関への疑義内容の照会など県内統一の学校心臓検診システムの精度管理をするとともに、「心電図判断基準」の改訂、「不整脈を持つ児童生徒の管理」と題した研修会を実施した。

その他、例年通り各郡市医師会主催の学校医等研修会及び小児生活習慣病対策に対し助成を行った。

学校心臓検診検討委員会		
6 月 7 日	10 月 4 日	1 月 31 日
学校医部会総会・学校医研修会・学校心臓		
検診精密検査医療機関研修会	12 月 9 日	
学校医部会役員会	6 月 21 日	
郡市医師会学校保健担当理事協議会・		
学校医部会合同会議	11 月 15 日	
中国四国医師会連合学校保健担当理事		
連絡協議会「島根」	8 月 19 日	
中国地区学校保健・学校医大会「島根」	8 月 19 日	

第 49 回全国学校保健・学校医大会「鹿児島」
10 月 27 日

同 都道府県医師会連絡会議「鹿児島」
10 月 27 日

日医学校保健講習会 3 月 17 日

若年者心疾患・生活習慣病対策協議会理事会
「大阪」 1 月 26 日

第 51 回若年者心疾患・生活習慣病対策協議会
総会「大阪」 1 月 27 日

成人・高齢者保健

糖尿病対策として、平成 29 年に引き続きコメディカル・歯科医等を対象に山口県糖尿病療養指導士講習会を年 4 回開催し、修了認定試験合格者 158 名を新たに「やまぐち糖尿病療養指導士」として認定し、全体で資格保有者は 1,056 名となった。一方、これまでの資格認定者を対象に知識・技術向上及び資格更新のためのレベルアップ講習会を開催した。また、山口県と山口県糖尿病対策委員会で、「平成 29 年度糖尿病性腎症重症化予防の事業効果の検証について」を作成し、山口県医師会も含めた連名で「糖尿病性腎症重症化予防プログラム 別冊：県内市町の現状分析」を策定した。

特定健診・特定保健指導は依然として受診率・終了率が低い。実施状況や検討課題について、保険者や決済代行機関（支払基金・国保連合会）の出席のもとで郡市医師会特定健診・特定保健指導担当理事協議会及び関係者合同会議を開催した。

健康教育委員会では、30 年度のテーマを「関節リウマチ」として、健康教育テキストの内容を検討し、発行した。

がん対策では、胃内視鏡検診に従事する医師の資質向上を図る研修会と、がん診療に携わるすべての医師の緩和ケアに関する基礎的な知識習得を目的として緩和ケア医師研修会を開催した。また、がん検診受診率向上の施策の一つとして、休日及び平日夜間のがん検診を実施する医療機関へ助成する事業を実施した。

感染症対策では、麻しん・風しん等に関する日本医師会及び県からの通知など、郡市医師会を通じて会員への情報提供に努めた。また、国・県が

行う新型インフルエンザ等対策訓練と合わせて、
 郡市医師会担当者及び事務局に対する情報伝達の
 確認を行った。

健康スポーツ医学実地研修会は、フレイル・サ
 ルコペニアの実際と対策、姿勢制御と歩行時のバ
 ランス調整法に関する研修会を実施し、多数の参
 加があった。

禁煙推進委員会では、県民に受動喫煙防止への
 理解を深めることを目的に、禁煙教育スライドの
 リニューアルを行った。

郡市医師会成人・高齢者保健担当理事協議会

5 月 10 日

山口県糖尿病対策推進委員会

7 月 12 日 10 月 11 日 1 月 31 日

山口県糖尿病療養指導士講習会 6 月 17 日

7 月 1 日 8 月 19 日 11 月 18 日

「やまぐち糖尿病療養指導士」

第 11 回レベルアップ講習会 10 月 14 日

第 6 回日本糖尿病対策推進会議総会

12 月 6 日

都道府県医師会予防・健康づくり（公衆衛生）

担当理事連絡協議会 6 月 15 日

郡市医師会特定健診・特定保健指導担当理事

及び関係者合同会議 9 月 27 日

健康教育委員会

6 月 28 日 9 月 20 日 12 月 6 日

山口県胃内視鏡検診研修会 1 月 13 日

山口県緩和ケア医師研修会連絡会議

6 月 28 日

山口県緩和ケア医師研修会 2 月 24 日

健康スポーツ医学委員会 7 月 12 日

健康スポーツ医学実地研修会

9 月 1 日 11 月 23 日

禁煙推進委員会 7 月 5 日 10 月 18 日

産業保健

平成 30 年 6 月に成立した働き方改革関連法の中
 では、メンタルヘルス対策や治療と職業生活の
 両立支援に取り組む企業への支援の推進が求めら
 れていることから、県医師会主催の産業医研修会
 では、治療と職業生活の両立支援の意見書の書き
 方や、勤労者の睡眠呼吸障害を取り上げ、産業医

の資質向上を図った。また、郡市医師会協力の産
 業医研修会では、要望を踏まえて「職場巡視の方
 法、評価、記録」や「治療と職業生活の両立支援」
 等を中心とした研修会を計 18 回開催した。

また、県内の産業保健活動を推進するため、山
 口産業保健総合支援センター、郡市医師会、労働
 局など各関係機関との連携を行った。

産業医研修カリキュラム策定等委員会

4 月 5 日

山口県地域両立支援推進チーム第 2 回会議

7 月 19 日

郡市医師会産業保健担当理事協議会

11 月 8 日

山口産業保健総合支援センター

地域窓口全体会議 10 月 4 日

山口産業保健総合支援センター運営協議会

9 月 6 日 3 月 7 日

第 40 回産業保健活動推進全国会議

10 月 11 日

山口県医師会産業医研修会

6 月 6 日 6 月 28 日 7 月 12 日

7 月 26 日 8 月 2 日 9 月 19 日

10 月 25 日 11 月 1 日 11 月 8 日

11 月 15 日 12 月 20 日 1 月 17 日

1 月 30 日 2 月 28 日

5 広報・情報

今村 副会長 中村常任理事

藤本常任理事 郷 良 理 事

長 谷 川 理 事

広報事業

広報事業は、組織の主張を展開し会員間の討論
 の場ともなる重要な分野である。平成 30 年度も
 対内広報と対外広報の発展に努めた。

①広報活動事業

医師会報の作成については、毎月開催してい
 る広報委員会において、誌面の刷新並びに記事や
 コーナーの充実をより一層図り、30 年度も新規
 開業の先生方に以前の自身の環境と新しい環境で
 の感想や医師会や医療界に対する率直な意見など
 を執筆いただく「フレッシュマンコーナー」、女

性医師による随筆「女性医師エッセイ」、会員からの一般投稿（医療・医学に関連したこと）「会員の声」を掲載した。また、「新郡市医師会長インタビュー」、「新病院長に聴く」、「指導医に聴く『私が研修医だった頃』」、「女性医師部会座談会」を行い、それぞれ掲載するとともに、新コーナーとして「山口大学大学院医学系研究科新任教授ごあいさつ」を設け教室紹介を含めて寄稿いただき、掲載した。

ホームページについては、会員だけでなく県民への情報発信に必須の手段となっているが従来、県民向けのページがなく、対外広報の一環としては十分ではなかったこと、また、今後、ホームページを利用される機会が増えると思われたことから、29 年度に大幅にリニューアルを行ったところであるが、30 年度はさらに充実させるべく、コンテンツの充実に取り組んだ。

対外広報活動として、11 月に下関市民会館にて県民公開講座「食事と運動の健康習慣」を開催した。まず、「いのち、きずな、やさしさ」をテーマに開催したフォトコンテストの表彰式を行った。第 9 回目となった今回は全国各地から 169 作品の応募があり、写真家の下瀬信雄 先生を交えて 10 月に審査会を行い表彰作品を決定し、表彰式では下瀬先生による講評をいただき、応募いただいたすべての作品を会場に展示した。その後、特別講演として、慶應義塾大学医学部教授の井上浩義 先生に「最新の健康レシピ」と題して講演いただき、参加者には大変好評であった。

また、当日に、29 年度の新規事業であった山口県医師会の存在及び活動等について県民にどれだけ認知されているのかを掴むためにアンケート調査を 30 年度も実施したところ、125 名から回答を得ることができた。現在までに述べ 1,078 名から回答を得ており、この結果を参考にし、今後の医師会活動に活かしていきたい。

報道機関との関係については、報道機関の支社長クラスで組織する山口県報道懇話会との懇談会を開催し、報道関係者との親睦を深めるとともに、医療への更なる理解を求めた。

②花粉症情報提供事業（山口県委託事業）

30 年度は県内 21 測定機関にスギ・ヒノキ花

粉について 1 月から 4 月末日まで毎日測定していただき、その結果を本会に連絡してもらい、それを基に翌日の飛散予測を行い、関係機関やマスコミ等に対して情報提供を行った。また、その間、本会ホームページの「花粉情報コーナー」も毎日更新し、最新の情報を県民に伝えるべく努力した。さらに、4 測定機関には 5 月から 12 月末日までイネ科花粉等の測定を行っていただき、飛散状況について週 1 回、ホームページに掲載した。

また、正確な花粉飛散情報を県民に提供するため、30 年度も測定機関の測定者等を対象にした花粉測定講習会を開催し、その測定精度をより向上させるとともに、29 年度同様、花粉測定並びに講習会のあり方等についてアンケートを行い、今後の参考とすることとした。花粉情報委員会では、報道の取材に協力して、テレビ、新聞で花粉症対策の記事の掲載、特集番組の放送の機会を増やしていくようにした。

さらに、今回で 7 回目となる県民公開講座「花粉症対策セミナー」を開催し、前回同様、難聴の方も参加できるように手話通訳及びスクリーン映写による要約筆記を山口県聴覚障害者情報センターの協力で同時進行で行った。シンポジウム形式で行った質疑応答では参加者から多くの質問があった。また、次回以降の講演等を検討するにあたり参考とするべく、参加者にアンケートを実施した。

情報事業

例年 2 ～ 3 月に 2 日間に亘って開催される日本医師会医療情報システム協議会に出席した。30 年度のメインテーマは「明日の医療を彩る ICT」でオンライン診療の現状と将来展望や全国保健医療情報ネットワークについての発表があり、活発な議論が交わされた。

また、30 年度は 10 月に開催された都道府県医師会情報システム担当理事連絡協議会にも出席し、次世代医療基盤法、医療セプターの運営、医師資格証の普及、等についての講演を聴講した。

ホームページのリニューアルに伴い新しく構築した、Web 上にて研修会等への出席のエントリーができるシステムについて活用した。

対内広報関係

広報委員会

4 月 5 日	5 月 10 日	6 月 7 日
7 月 5 日	8 月 2 日	9 月 6 日
10 月 4 日	11 月 8 日	12 月 6 日
1 月 10 日	2 月 7 日	3 月 7 日
歳末放談会		11 月 8 日
女性医師部会座談会		11 月 21 日

対外広報関係（県医師会）

フォトコンテスト審査会	10 月 4 日
同 表彰式	11 月 11 日
県民公開講座「食事と運動の健康習慣」	11 月 11 日

対外広報関係

マスコミ関係

山口県報道懇話会との懇談会	12 月 4 日
---------------	----------

花粉情報関係

花粉情報委員会	6 月 21 日	9 月 20 日
花粉測定講習会		12 月 16 日
県民公開講座 花粉症対策セミナー		12 月 16 日

医療情報システム関係

都道府県医師会情報システム	
担当理事連絡協議会	10 月 10 日
日本医師会医療情報システム協議会	3 月 2 ～ 3 日

6 医事法制

林 副会長 中村常任理事
山下 理事 郷良 理事

過去 3 年に当会が受け付けた事故報告は、27 年度が 26 件、28 年度は 29 件、29 年度が 26 件であり、30 年度は 18 件であった。18 件中、既に解決した案件が 5 件、経過待ちや交渉中等が 12 件であるが、それ以外の案件については、複雑な内容のものが多く、既に訴訟になっている案件もあることから、新たな解決策を検討し確立していかなければならないと思われる。

医療事故防止対策の一環として平成 19 年度から行っている「医療紛争防止研修会」を 30 年度

も開催した。病院に当会医事紛争担当理事と顧問弁護士が出向き、紛争防止に係わる講演を行い、また、その医療機関の医療安全担当者にも紛争防止のための取組みに関するご講演をいただき、医師だけでなく医療従事者や事務担当者などの全スタッフを対象に、紛争防止についての再確認をしていただいた。

医療事故調査制度の対応については、対象事案の対応を図るとともに県内の支援団体（12 団体）の中核として、「山口県医療事故調査支援団体連絡協議会」等を主催し、各団体との連携強化を図った。また、郡市医師会担当理事と医療事故調査委員との合同連絡協議会を開催し、各種講演会、情報提供等を通じ体制の充実に努めた。県医の担当役職員については、外部研修（Ai 研究会、医療事故調査研修会等）に参加し、調査の精度向上に向けて準備を図った。

また、各医療機関の医療メディエーター養成のため、日本医療機能評価機構と連携のうえ、「医療対話推進者養成セミナー」（導入編と基礎編）を県内で開催し、（入院料の患者サポート体制充実加算の要件でもある）有資格者の増員に努めた。

平成 30 年度

医療紛争発生件数 18 件（日医付託は 4 件）

内訳
解決 5 件
訴訟中 0 件
交渉中や経過待ち等 13 件

平成 30 年

「診療情報提供推進窓口」受付件数 41 件

内訳			
患 者		23 件	
患者家族		10 件	
その他（患者の知人、内部告発等）		8 件	
上記のうち、			
匿 名	18 件	非匿名	23 件
男 性	20 件	女 性	20 件
苦 情	22 件	相 談	19 件

医療紛争関係**(1) 医療事故防止対策**

医療紛争防止研修会 9 月 5 日
 中国四国医師会医事紛争研究会
 (島根県担当、於 岡山市) 11 月 11 日
 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会
 12 月 13 日
 郡市医師会医事紛争担当理事協議会
 3 月 14 日
 冊子「医療事故を起こさないために (第 4 版)」
 の作成及び周知徹底

(2) 紛争処理対策

医事案件調査専門委員会
 (医師賠償責任保険審議会併催)
 4 月 19 日 5 月 24 日 6 月 21 日
 7 月 26 日 8 月 23 日 10 月 18 日
 11 月 15 日 12 月 20 日 2 月 14 日
 3 月 28 日
 顧問弁護士・医事案件調査
 専門委員合同協議会 2 月 16 日

(3) 医療安全対策

日医医療安全推進者養成講座
 日医医療安全推進者養成講習会 10 月 14 日
 医療事故調査制度トップセミナー
 1 月 17 日 2 月 18 日 2 月 25 日
 医療対話推進者養成セミナー 2 月 9～11 日
 医療事故調査等支援団体連絡協議会
 1 月 19 日
 医療事故調査委員合同打合せ会 1 月 19 日
 郡市医師会医療事故調査担当理事協議会
 1 月 19 日
 Ai 研究会 1 月 19 日

(4) 診療情報の提供

診療情報提供推進委員会 1 月 31 日
 郡市医師会診療情報担当理事協議会
 3 月 14 日

薬事対策**(1) 麻薬対策**

麻薬の適正使用・保管・管理・記帳・諸届、毒

劇物の保管・管理の周知の徹底を図ったが、特に問題となる事例は発生しなかった。

(2) 医薬品臨床治験

治験に関する情報については当会ホームページ
 を活用し会員に情報提供をしている。
 治験推進地域連絡会議 3 月 16 日

7 勤務医・女性医師

今村 副会長 加藤専務理事
 中村常任理事 前川常任理事
 白澤 理事 山下 理事
 郷 良 理事 長谷川 理事

勤務医

最近の勤務医を取り巻く環境は、厳しい状況にある。

新医師臨床研修制度の導入や理不尽な医療訴訟等により、地域・診療科による医師の偏在が進行し、医師不足、過重労働の問題が顕在化して地域医療は崩壊しかけている。

こうした中、勤務医部会では、平成 30 年度は勤務医をめぐる諸課題の解決に向け、病院勤務医懇談会、市民公開講座、医師事務作業補助者の活動支援、座談会シンポジウムなどを企画、実施した。

病院勤務医懇談会は、各病院に勤務医部会役員等が出向き、勤務医の抱えるさまざまな課題等について意見交換、情報交換する場として、医師会会員・非会員を問わず、直接対話のできる機会として重要な機能を果たしており、平成 30 年度も 2 箇所で開催した。

市民公開講座は、病院勤務医の過重労働の現状を理解してもらうとともに、身近なテーマにより地元住民と医療について考える場として、県内 2 箇所で開催した。

勤務医部会シンポジウムは「AI で医療はどう変わるか」をテーマとし、AI を活用することで医療現場の負担軽減につながるのか議論が交わされた。

医師事務作業補助者の支援は、医師の負担軽減に資することから、これまでの取組みを踏まえ、医師事務作業補助者連絡協議会が主体となって行う研修等の事業に対し側面的な支援をした。

座談会は、「山口県の専攻医を増やすには!？」と題して専攻医に、日頃の思いや考えを本音で大いに語ってもらおうと企画して熱心な議論が交わされた。この座談会の内容は、『勤務医ニュース』第 23 号として発刊した。

さらに、医学生のための短期見学研修事業は、医学生の早いうちから、県内の病院や現場を知り、医師として働くことの意義や魅力を知ってもらうために山口大学医学部の支援をいただき実施した。

臨床研修への取組みとしては、平成 22 年 4 月より山口大学、県内の基幹型臨床研修病院、山口県及び山口県医師会で組織された山口県医師臨床研修推進センターにおいて、臨床研修の円滑な推進及び研修医の県内定着に関する事業を行っており、30 年度も臨床研修病院合同説明会への参加、臨床研修医交流会の開催、指導医・後期研修医等国内外研修助成事業等により、県内の若手医師の確保・育成に努めた。

以下に 30 年度事業内容を報告する。

1 勤務医対策

(1) 勤務医部会総会、理事会、企画委員会の開催

- ① 総 会 2 月 17 日
- ② 理 事 会 7 月 22 日
- ③ 企画委員会

6 月 6 日 8 月 18 日 12 月 2 日

(2) 病院勤務医懇談会の開催（県内 2 か所）

11 月 7 日 西部地区
済生会下関総合病院

11 月 13 日 東部地区
小郡第一総合病院

(3) 市民公開講座の開催（県内 2 か所）

2 月 16 日 下関市医師会
「ウイルス感染対策と
ワクチン事業について」

3 月 17 日 徳山医師会
「考えてみよう、人生の最後で
あなたが望む治療や生き方は？」

(4) 県医師会生涯研修セミナーにおける

- シンポジウムの開催 2 月 17 日
- ① 基調講演
「AI ホスピタルの実現に向けて」

② シンポジウム

「AI で医療はどう変わるか」

(5) 医師事務作業補助者連絡協議会事業

10 月 27 日 医師事務作業補助者研修会
講演「保険診療の理解のために
～医師事務作業補助者の役割～」

2 月 17 日 医師事務作業補助者研修会
グループワーク

(6) 座談会

12 月 2 日
「山口県の専攻医を増やすには!？」

(7) 医学生への啓発事業（「医学生のための短期見学研修事業」の開催）

8 月～9 月、2 月～3 月 事業実施

(8) 平成 30 年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会

5 月 16 日 日本医師会

(9) 平成 30 年度全国医師会勤務医部会連絡協議会への参加

11 月 3 日 長崎県
「明日の勤務医の働き方を考える～西洋
医学発祥の地長崎からの提言～」

(10) 郡市医師会勤務医理事と勤務医部会企画委員会との懇談会

3 月 16 日

(11) 勤務医ニュースの発行（年 2 回）

第 22 号 勤務医部会主催シンポジウム
「病院の行っている感染対策について」
第 23 号 座談会
「山口県の専攻医を増やすには!？」

2 臨床研修医の確保対策（山口県医師臨床研修推進センター事業）

(1) 臨床研修医歓迎会

と き 4 月 6 日（金）
ところ ANA クラウンプラザホテル宇部
参加者 研修医（1 年目）88 名
臨床研修関係者 69 名

計 157 名

(2) 臨床研修病院合同説明会

- ① レジナビフェア 2018 大阪 7 月 1 日
- ② e-レジフェア 2018 福岡 10 月 28 日
- ③ レジナビフェア 2019 福岡 3 月 3 日

④レジナビフェアスプリング 2019 東京

3 月 10 日

(3) 臨床研修医交流会

と き 8 月 25 日 (土) ～ 26 日 (日)

ところ 山口市湯田温泉

参加者 臨床研修医 86 名

臨床研修関係者 41 名

計 127 名

(4) 指導医・後期研修医等国内外研修助成事業

助成実績：申請者なし

(5) 国内外からの指導医の招へい事業

助成実績：県内基幹型臨床研修病院 2 病院

(6) 病院現地見学会助成事業

助成実績：県内基幹型臨床研修病院 9 病院

(7) 山口県医師臨床研修推進センター運営会議

11 月 1 日 3 月 28 日

女性医師

男女共同参画部会では 6 つのワーキンググループ（勤務医環境問題、育児支援、女子医学生キャリア・デザイン支援、地域連携、広報、介護支援）による活動を継続した。部会総会では毎年トレンドな話題を共有するための講演会やシンポジウム等を企画しており、30 年度は神奈川県立保健福祉大学教授 吉田穂波 先生の受援力をテーマとした講演と特別企画としてパネルディスカッション「医学科入試 女子減点問題を通してみえてくるもの～今、何が問題なのか？」を実施した。

また、日本医師会が開催するフォーラム・連絡会等に参加し他県の取組み等の情報収集に努めるとともに、男女共同参画推進事業助成金制度を継続し、女性医師の医師会活動への参画推進及び医師の働きやすい環境づくりと資質向上に向けた活動を行う郡市医師会への支援を実施した。30 年度は郡市医師会の男女共同参画部会等の活動費用として 9 件の助成を行った。

1 勤務医環境問題

女性医師勤務医ネットワークの更新を行った。県内 143 病院のうち、105 病院の登録があった。

2 育児支援

平成 21 年から山口県の委託事業として専任の

保育相談員を置き、女性医師等からの育児に関連した相談を受け支援を続けている。同年設立した保育サポーターバンクでは引き続き登録者の募集を行うとともに、医師に対して県医師会報、リーフレット、ポスター等において保育サポーターバンク活用の広報を行っており、3 月 31 日現在、総相談件数は 186 件、バンク登録者は 120 名である。

また、11 月に『保育サポーターバンク通信』（第 9 号）を発行し、3 月 17 日に第 10 回サポーター研修会を開催した。

3 女子医学生キャリア・デザイン支援

年々増加している女子医学生が、先輩女性医師の働く姿を見て、実際に働く現場を体験することにより、自分の将来像を描く参考にすることで、これからの医療を担う責任感を養い、医師として仕事をし続ける自覚を育てることを目的として、女子医学生インターンシップを実施した。30 年度は 42 施設 77 名の女性医師に受け入れの登録をしていただき、43 名の女子医学生が参加した。

4 地域連携の推進

現在までに県内 12 郡市医師会により 9 つの男女共同参画・女性医師部会等が設置されている。郡市間の情報交換の場として男女共同参画・女性医師部会地域連携会議を開催し、各郡市の活動報告及び意見交換を行った。

5 広報

平成 23 年に山口県医師会ホームページ内に女性医師支援のためのコーナー：やまぐち女性医師ネット（Y-JoyNet）を作成しており、適宜更新を行った。

県が運営する医師確保に関する情報サイト「やまぐちドクターネット」に県内の女性医師支援情報を集約、掲載するよう要望した。掲載内容の整理にあたり、山口大学医学部附属病院医療人育成センター男女共同参画支援部門と協議を行った。

6 介護支援検討

平成 27 年度の総会において、日常の介護に関

わる課題等について専門家を交えて意見交換を行ったことを基に、医師会としての介護支援の在り方を検討した。

男女共同参画部会総会	3 月 17 日
男女共同参画部会理事会	
6 月 2 日	9 月 22 日
2 月 16 日	
男女共同参画部会ワーキンググループ	
総 会	9 月 5 日
育児支援	7 月 31 日
2 月 16 日	
広 報	7 月 14 日
男女共同参画・女性医師部会地域連携会議	
9 月 22 日	
保育サポーターバンク運営委員会	
7 月 31 日	2 月 16 日
保育サポーター研修会	3 月 17 日
日医（第 14 回）男女共同参画フォーラム	
「高知県」	5 月 26 日
日医女性医師支援センター事業中国四国	
ブロック会議	11 月 11 日
日医女性医師支援事業連絡協議会	12 月 9 日
都道府県医師会女性医師支援・ドクターバンク	
担当役職員連絡会	1 月 18 日

8 医業

沖中常任理事 前川常任理事
河 村 理 事

医業経営対策

昨年 12 月に閣議決定された「平成 31 年度税制改正大綱」において、「控除対象外消費税問題」に関しては、医療機関等における仕入税額相当額（控除対象外消費税）への対応として、診療報酬の基本診療料の配点を精緻化し、実際の補てん状況を継続的に検証し、必要に応じて見直しすることになった。また、医療機関等の設備投資への支援措置（特別償却制度の拡充・見直し）として、医療関係者の働き方改革の推進のための器具備品やソフトウェアの特別償却制度の創設、地域医療構想の実現に資する病院用等の建物、建物附属設備の特別償却制度の創設、医療用機器の特別償却制度の延長・見直しにより解決が図られることになった。そして「個人版事業承継税制」及び「中小企業が行った防災設備への投資に係る特別償却制度」が創設されるほか、「事業税の非課税措置・

軽減措置」と「四段階制」については従前どおりの存続となった。

当会では、医療機関等に係る税制問題を喫緊課題としてとらえ、各方面からの情報を収集しつつ、各医療機関が円滑な医業経営ができるように、情報提供を行った。

また、医師の卒後臨床研修制度の実施や病院 7 対 1 看護制度により、中小病院における医師や看護師不足は深刻となっており、その経営にも影響が現れてきている。当会運営のドクターバンク制度で地域医療の人材確保に努めているところであるが、十分な手段とはなりえていないのが現状である。医業経営の諸問題については、自民党山口県連政策聴聞会で、地域医療介護総合確保基金の充実強化、医師・看護職員確保対策、小児医療対策等の説明と要望を行った。

医療廃棄物対策

30 年度は会員向けの「産業廃棄物処理施設における作業環境管理研修会（通称：実地研修会）」を山陽小野田市の共英製鋼山口営業所のご協力のもとに開催した。17 名の受講者があり、講演「産廃処理施設における作業環境管理」のあと、工場内見学を行った。

このほか、国や県からの医療廃棄物取扱いに関する情報提供及び医師会員からの廃棄物に係する問い合わせへの対応を行った。

産業廃棄物処理施設における

作業環境管理研修会 1 月 31 日

医療従事者確保対策

平成 30 年度も継続して医療従事者に対する教育・研修の開催を支援していくための事業を強化して行っている。

毎年の状況を取り纏めている「看護学院（校）に関する基本調査」では、運営が厳しい状況には変わりはないことがうかがえた。30 年度は、県下医師会立看護学校の要望も受け、新規事業として「看護学校課題対策検討会」を開催し、学校長や事務長だけでなく、運営医師会長にもご出席いただき、抱える問題について、より詳細な検討を行った。

また、看護教員不足問題の解決の一助となるように、山口県立大学に対して、看護教員養成講習会の定期的開催と、一部カリキュラムに e ラーニングを設定することで、より受講しやすい環境を整えてもらうように要望を行った。

国や行政に対しては、看護職員等の確保と養成施設の現状の理解と支援拡充についての要望も、継続して行った。

昭和 51 年から毎年、「看護学生らしく、最後まで全力を出して頑張ろう」を参加目標として、各学院（校）の当番制で開催しているバレーボール大会は、30 年度は宇部看護専門学校の引受で開催した。なお、このバレーボール大会については、各看護学校のご意見ご要望と実状をふまえ、当会で慎重に協議した結果、30 年度の大会をもって終了とすることとした。

郡市看護学院（校）担当理事・

教務主任合同協議会 6 月 7 日
看護学院（校）対抗バレーボール大会
6 月 24 日

山口県立大学理事長面談

～看護教員養成講習会に関して～ 8 月 2 日
中四九地区医師会看護学校協議会（島原市）
8 月 18～19 日

看護学校課題対策検討会 9 月 6 日
看護学院（校）への助成

看護職員等研修会に対する助成

生徒募集対策（募集ポスター作成）

山口県准看護師教育教務主任会への助成

山口県実習指導者養成講習会受講者に対する助成
オープンキャンパス開催時の助成

准看護師を対象としたスキルアップ研修会開催
時の助成

労務対策

医療機関が円滑な医業運営をするためには、従業員等の労務管理は必要不可欠なもので、それは県民への質の高い医療の提供にもつながる。適正な労務管理ができるように、関係当局と連携して情報提供等を行った。

平成 27 年 9 月に開設された「山口県医療勤務環境改善支援センター」においては、当会も必要

に応じて情報提供等の連携を行った。

働き方改革については、労働局等の関係機関からの情報を会員に周知徹底を図るとともに、中央の動向を注視し、適宜対応できるようにしている。

- 1 労働基準法、男女雇用機会均等法、
育児・介護休業法などの普及啓発
- 2 山口県医師会ドクターバンク活用の推進
- 3 山口県医療勤務環境改善支援センター運営
協議会への出席 3 月 7 日

Ⅱ その他事業

1 収益

実施事業を財政的に支えるために、次の事業を実施した。

（1）保険料収納代行業務

主に会員を対象として生命保険及び損害保険の保険料の集金業務を保険会社等に代わって行うことにより、生命保険会社等から集金代行手数料を得た。

（2）労働保険事務組合業務

小規模の事業主である会員から委託を受けて、労働保険料の申告、納付各種届け出等の業務を行い、山口労働局から報奨金の交付を受けた。

Ⅲ 法人事業

1 組織

加藤専務理事 清水常任理事
白澤理事 長谷川理事

1 表彰

医学医術に対する研究による功労者表彰 1 名
長寿会員表彰 33 名
役員・代議員・予備代議員・郡市医師会長
通算 10 年以上表彰 8 名
退任役員 5 名

2 会員への入会促進・研修

新規第 1 号会員研修会 7 月 12 日

3 調査研究等

定款等検討委員会	12 月 15 日
顧問・裁定委員合同懇談会	10 月 25 日

4 郡市医師会関係

郡市医師会長会議	10 月 11 日	2 月 21 日
郡市医師会理事会訪問		
「宇部市・美祢市」	8 月 31 日	
「萩市」	9 月 26 日	
「熊毛郡・柳井」	11 月 16 日	
郡市医師会事務連絡協議会	10 月 12 日	

5 日医関係

第 142 回定例代議員会	6 月 23 日	
第 143 回臨時代議員会	6 月 24 日	
第 144 回臨時代議員会	3 月 31 日	
都道府県医師会長協議会		
9 月 18 日	11 月 20 日	1 月 15 日
都道府県医師会事務局長連絡会	2 月 15 日	
日本医師会監事会・理事会		
7 月 24 日	8 月 21 日	9 月 18 日
10 月 16 日	11 月 20 日	2 月 18 日
1 月 15 日	2 月 19 日	3 月 19 日
日本医師会学術推進会議	1 月 24 日	
日本医師会医事法関係検討委員会	6 月 13 日	
日本医師会社会保険診療報酬検討委員会	12 月 26 日	
日本医師会母子保健検討委員会		
10 月 18 日	12 月 5 日	3 月 20 日
日本医師会学校保健委員会		
9 月 20 日	12 月 13 日	2 月 7 日

6 中国四国医師会連合関係

常任委員会	4 月 28 日	6 月 22 日
9 月 29 日	11 月 17 日	3 月 30 日
中国四国医師会連合総会	9 月 30 日	
中国四国医師会連合各種分科会	9 月 29 日	
中国四国医師会連合連絡会		
6 月 22・23・24 日	3 月 30・31 日	
中国四国医師会事務局長会議	11 月 16 日	

7 会員福祉関係

(1) 会員親睦		
山口県医謡会		7 月 1 日
山口県医師会ゴルフ大会		9 月 30 日
山口県医師会テニス大会		
5 月 13 日	5 月 27 日	11 月 25 日
山口県医師会囲碁大会		2 月 17 日

(2) 弔慰（物故会員参照）
規定どおり実施した。

8 新公益法人制度対策

決算事務等定期提出書類について顧問会計事務所と協議を行った。

9 母体保護法関係

母体保護法指定医師審査委員会	4 月 4 日	
4 月 15 日	8 月 9 日	10 月 5 日
(指定更新 38 名、新規指定 5 名)		
母体保護法指定医師研修会	10 月 14 日	
認定研修機関(9 施設)の定期報告		
日医家族計画・母体保護法指導者講習会	12 月 1 日	

10 関係機関連携

山口県健康福祉部との懇話会	5 月 10 日
山口県歯科医師会との懇談会	9 月 14 日
山口県看護協会との懇談会	2 月 28 日
山口県病院協会との懇談会	3 月 5 日
三師会懇談会	2 月 1 日

11 医師会共同利用施設対策

医師会病院、臨床検査センター及び介護関連施設等の医師会共同利用施設は、地域の健康・医療・福祉を包括した総合拠点として重要な役割を果たしている。

しかし、施設の老朽化や民間との競合など経営面での問題を抱えている施設もある。

30 年度は広島県で開催された「第 21 回中国四国医師会共同利用施設等連絡協議会」に参加し、共通の問題点に対する対応策や運営上の情報交換を行った。

山口県衛生検査所精度管理専門委員会への参加

及び山口県衛生検査所立入検査を行い、精度向上に貢献した。

また、「平成 30 年度日医臨床検査精度管理調査報告会」へ参加し、全国の状況把握、情報収集を行った。

第 21 回中国四国医師会共同利用施設等

連絡協議会への参加（広島県） 8 月 25 日
山口県衛生検査所精度管理専門委員会への参加

9 月 13 日 2 月 7 日

山口県衛生検査所立入検査 11 月 8 日

平成 30 年度日医臨床検査精度管理調査

報告会への参加 3 月 8 日

12 社会貢献

山口ゆめ花博の開催及びレノファ山口 FC に対する活動支援等を行った。

13 医政対策

自見はなこ 次世代の医療を考える会

4 月 17 日

2018 武見セミナー 5 月 28 日

河村建夫政経セミナー 6 月 30 日

岸 信夫政経セミナー 7 月 1 日

敬人会（武見敬三）勉強会 9 月 18 日

林よしまさ国政報告会 10 月 14 日

自民党山口県連環境福祉部会への要望

10 月 25 日

平成 31 年度施策・予算要望（山口県知事）

10 月 25 日

公明党山口県本部政策懇談会 11 月 2 日

全国医師会医療政策研究大会 11 月 25 日

羽生田たかし君を励ます会 11 月 25 日

2018 武見セミナー 11 月 27 日

第 14 回医療関係団体新年互礼会 1 月 5 日

林よしまさ平成 31 年新春の集い 1 月 11 日

公明党新春のつどい 1 月 12 日

河村建夫新春の集い 2 月 2 日

北村経夫国政報告会 2 月 2 日

日医医療政策シンポジウム 2 月 13 日

高村正大新春の集い 2 月 23 日

14 庶務関係報告

(1) 会員数（平成 30 年 12 月 1 日現在）

	平成 30 年度	平成 29 年度	増減 (△)
第 1 号会員	1,272	1,285	△ 13
第 2 号会員	877	866	11
第 3 号会員	457	450	7
計	2,606	2,601	5

郡市医師会別会員数

郡市医師会	第 1 号	第 2 号	第 3 号	計
大 島 郡	8	26	2	36 (32)
玖 珂	25	23	0	48 (48)
熊 毛 郡	15	5	0	20 (21)
吉 南	57	43	5	105 (96)
厚 狭 郡	20	4	0	24 (24)
美 祢 郡	6	7	0	13 (14)
下 関 市	282	128	75	485 (485)
宇 部 市	180	94	37	311 (319)
山 口 市	115	102	21	238 (241)
萩 市	42	35	0	77 (79)
徳 山	127	124	32	283 (282)
防 府	95	82	23	200 (203)
下 松	51	26	1	78 (77)
岩 国 市	90	37	8	136 (134)
小 野 田	47	36	5	88 (85)
光 市	37	41	3	81 (82)
柳 井	38	38	6	82 (80)
長 門 市	27	23	1	51 (54)
美 祢 市	10	3	1	14 (13)
山口大学	0	0	236	236 (234)
計	1,272	877	457	2,606 (2,601)

() は平成 29 年度

(2) 物故会員

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までに 31 名の会員がお亡くなりになりました。

(3) 代議員数

大 島 郡	1	宇 部 市	7	小 野 田	2
玖 珂	1	山 口 市	5	光 市	2
熊 毛 郡	1	萩 市	2	柳 井	2
吉 南	2	徳 山	6	長 門 市	2
厚 狭 郡	1	防 府	5	美 祢 市	1
美 祢 郡	1	下 松	2	山口大学	5
下 関 市	10	岩 国 市	3	計	61 名

議案第 4 号 平成 31 年度山口県医師会
費賦課徴収の件

議案第 5 号 平成 31 年度山口県医師会
入会金の件

議案第 6 号 平成 31 年度役員等の報酬
の件

議案第 7 号 顧問の委嘱に関する件

(4) 代議員会

第 181 回臨時代議員会

平成 30 年 5 月 17 日（木）山口県医師会館
役員選挙

1. 議長、副議長の選定の件
2. 理事候補者の選出の件（会長候補者、
副会長候補者、理事候補者）
3. 監事候補者の選出の件
4. 裁定委員候補者の選出の件
5. 日本医師会代議員・予備代議員の選出
の件

会務報告

日本医師会代議員会の報告

報告事項

報告第 1 号 平成 30 年度山口県医師会
事業計画の件

報告第 2 号 平成 30 年度山口県医師会
予算の件

第 182 回定例代議員会

平成 30 年 6 月 14 日（木）山口県医師会館
報告事項

報告第 1 号 平成 29 年度山口県医師会
事業報告の件

議決事項

議案第 1 号 平成 29 年度山口県医師会
決算の件

議案第 2 号 山口県医師会役員（会長、
副会長、理事、監事）
及び裁定委員選任の件

議案第 3 号 山口県医師会役員（会長、
副会長）選定の件

(5) 理事会

4 月 5 日	4 月 19 日	5 月 10 日
5 月 24 日	6 月 7 日	6 月 14 日
6 月 21 日	7 月 5 日	7 月 19 日
8 月 9 日	8 月 23 日	9 月 6 日
9 月 20 日	10 月 4 日	10 月 18 日
10 月 31 日	11 月 15 日	12 月 6 日
12 月 20 日	1 月 10 日	1 月 31 日
2 月 7 日	2 月 21 日	3 月 7 日
3 月 20 日		

(6) 常任理事会

4 月 26 日	5 月 17 日	6 月 14 日
9 月 27 日	11 月 29 日	2 月 28 日

(7) 監事会

5 月 17 日に開催し、平成 29 年度の決算状況
及び業務執行状況について詳細に監査を受けた。

2 管 理

医師会運営及び会館管理に関することを行った。

県下唯一の医書出版協会特約店

医 学 書 専 門 井 上 書 店
看護学書

〒755-8566 宇部市南小串2丁目3-1(山口大学医学部横)

T E L 0836 (34) 3424 F A X 0836 (34) 3090

[ホームページアドレス] <http://www.mm-inoue.co.jp/mb>.

新刊の試覧・山銀の自動振替をご利用下さい。